

令和 元年 7月4日

守谷市議会議長 殿

委員長：高梨 恭子



報告者：山田 美枝子



北杜市「子育て世代包括支援センター」 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり ○実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日	令和元年7月4日	
視察・研修場所	北杜市、子育て世代包括支援センター	
視察・研修項目	事業概要、実施状況、特色ある事業、課題	
参加者	守谷市側	高梨恭子、末村英一郎、神宮栄二、高橋典久、川名敏子、山田美枝子、議長：梅木伸治、保健福祉部次長：椎名恵美子、議会事務局：寺田茂紀
	相手側	議長・中嶋 新、福祉部課長・保健師・中田はるみ
視察・研修目的	北杜市の「子育て世代包括支援センター」としての事業展開を学ぶ。	
視察・研修内容	平成29年度、北杜市保健センターを改修し、ほくとっこ元気課が新設され、「子育て世代包括支援センター」として事業を展開することになった。妊娠準備期から出産・子育て期に渡るまで、ワンストップの相談窓口を設置すると共に母子保健、子育て支援、少子化対策の事業を一体的に提供し、母子が安心して暮らせる街づくりを目指すため、包括的な子育て支援を行っている。(北杜市版ネウボラ) また、母子手帳の発行から全てをこの施設で行う事とした。(以前は支所でも発行)それは、一人一人の妊婦の状況を一括把握するのに役立つ。以後の母子の健診等も保健センター	

	<p>で行うため。</p> <p>保健センター内に、出会いサポートセンターも設置、出会いから結婚、妊娠、子育ての支援も考えている。</p> <p>産後ケア事業として宿泊型もあり、利用料金は、定額1泊2食33900円（うち、6100円が自己負担。残りの金額を県と市で半分負担）であり、利用者が年々増えている。</p> <p>人口46879人、高齢化率37.9%。出生数は平成30年で203人だった。</p>
<p>視察・研修総括 （今後の取組み 等）</p>	<p>北杜市は人口減少とともに、出生数は年々減少している。だからこそ、子育て包括支援事業は重要になってきているといえる。包括支援センターの利用者数は13819人と多い。それは親子食育教室、ベビーマッサージ教室等々、親子で参加の事業が多いようだ。守谷市でも保健センターなどの利用をもっと促進していくべきだろう。</p>